

# 第57回

【地域別】

## 市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成 26年 8月 16日

○会 場 西部コミュニティセンター

武蔵野市



## ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そしてテーマを決めないで実施する「青空タウンミーティング」がございます。

テーマ別では、「商店街の振興」や「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「地域で育てよう！武蔵野の子ども」「災害時に試される地域力」などを開催しています。また、学生、子育て中の方、シニア世代や外国人の方たちとまちづくりや活躍の場、生活や教育面での支援などについて意見交換を行いました。

今回は、西部コミセンで「第57回市民と市長のタウンミーティング」を開催し、各世代の課題や交流などについて話し合いを行いましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長 **邑上守正**

## 概 要

1. 日 時 平成26年8月16日(土)  
午後1時30分～3時30分
2. 場 所 西部コミュニティセンター
3. 主 催 西部コミュニティ協議会  
武蔵野市
4. 参加者数 55人
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正  
西部コミュニティ協議会 会長 木川 憲子
6. 司 会 西部コミュニティ協議会 桜井 和実  
市民活動担当部長 秋山 真弘
7. テ ー マ 「多世代交流の機会と新しいコミュニティづくり」

## 目 次

1. 発言の要旨	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 各世代の課題について（健康、仲間づくり、子育てなど）を をテーマにした意見交換（要旨）	3
1. 児童館の機能を持った施設の拡大について	3
2. 保育園等の定員増について	4
3. コミセンの児童館的役割について	5
4. 歴史資料館（武蔵野ふるさと歴史館）の 土地・建物使用料について	6
5. 高齢者の支援について	7
6. 武蔵境の魅力について	9
7. 児童館機能の継続について	9
(3) 西部地域の多世代交流と居場所づくりについて をテーマにした意見交換（要旨）	11
1. コミセンのあり方に対する意見について	11
2. 旧西部図書館のブックポストについて	11
3. 多世代交流について	12
4. 学生の地域活動参加について	13
5. 旧桜堤小学校の活用について	14
6. 武蔵境駅北口のバス停について	15
7. 地域での支え合い、武蔵野の歴史の伝承について	16
8. 旧桜堤小学校の工事の時期について	17
9. 多世代交流活動に対する市の補助について	17
(4) 閉会のあいさつ	19
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針	20
3. アンケートでいただいた感想	27

### — 付属資料 —

第57回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし



## 1. 発言の要旨

### (1) 開会のあいさつ

#### 【市 長】

皆さん、こんにちは。暑い日が続いております。夏休みも折り返し地点が過ぎて、あと2週間ということになりました。おかげさまで、子どもたちの行事も順調に進んでいるようであり、大きなトラブルの報告もございません。残り2週間、子どもたちにとっていい夏休みを過ごしていただければと思っています。

さて、本日は西部コミセンの皆さんとの共催で第57回目のタウンミーティングを行います。西部コミセンとのタウンミーティングとしましては、単独では平成19年、そして平成21年には境南コミセンとの合同、平成25年には境南・桜堤コミセンとの合同という形で実施しています。今回は西部コミセン単独ですので、西部地区を中心として、いろいろな地域の課題を出していただきたいと思っています。

西部地区は、特に桜堤二丁目の人口増が顕著であり、しかもファミリー層の皆さんが転入されていますので、子どもの人口が大きく増加しています。15歳未満の人口の割合が市全体では約10%ですが、この地域は約23%ですので、倍以上という数字になっています。

もう一つ特徴的なことは、桜堤一丁目、つまり団地周辺の高齢者の人口が大変増えているということです。高齢化率ですが、市の平均21%に対して、この地域は、30%となっており、極めて上がってきたと思っています。

このように、地域を見てもいろいろな特徴を持った場所であり、市民の皆さんについても、若い世代から高齢の方、それから、昔からお住まいの方や新しく来られた方など多様な方がお住まいになっています。これからのいろいろなコミュニティづくり、あるいは地域のいろいろな課題をどうやって皆さんと解決できるのかということが今日の大きなテーマだと思っていますので、様々な視点でぜひ課題や具体的な提案をいただきたいと思っています。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

#### 【木川西部コミュニティ協議会会長】

皆さん、こんにちは。お暑い中、ご参加いただきまして、どうもありがとうございます。

平成19年に単独で行い、その後、西部地区のコミセンで2回、スィングで1回開催しました。今回は、去年の1月以来の開催で、西部地区単独では久しぶりに行うことになりました。

今、市長からのお話にもありましたが、去年の1月のときには13万8千人ぐらいの人口が、今は14万2千人ぐらいになっているかと思いますが、それだけこの1年半ぐらいの間に人口が増えています。そして、一番増えているのがこの地域ということで、高齢者の割合もすごく多くなり、



また、新しく市外から入ってこられた方がたくさんいらっしゃいます。

そうした中で、武蔵野市で行っているコミュニティセンターの活動、コミュニティ協議会の活動というものが、新しく入ってこられた皆さんにはなじみがないので、いろいろな問題に直面しているかと思います。

今回のチラシの中にもいろいろなことが書いてありますが、まさしくこのようなことが常日頃ございます。ここを使うのにはどうしたらいいのか、ただの貸し館なんだろうという質問だとか、若い世代の方たちは、どのようにしたら高齢者の方と一緒に活動ができるのかしらという話があったり、また、ここ何年間か、赤ちゃんの声なんていうのはほとんどこのコミセンの中にはなかったんですが、今は毎日のように赤ちゃんの声が聞こえたりしています。

今日は、地域の皆さんと一緒に、この地域をよくする、つながりを深めるためにいろいろなご意見をいただいて、和やかに建設的な話を進めていければと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



## (2) 各世代の課題について（健康、仲間づくり、子育てなど）

### をテーマにした意見交換（要旨）

#### 1. 児童館の機能を持った施設の拡大について

##### 【ご意見】

市長から子育てに力を入れていく、全市的に取り組んでいくという話だったが、児童館と西部コミセンは、子どもの居場所として必要な場所だと考えている。

西部コミセンに関しては、今まで西部地域に児童館があったので、あまり子どもになじみのない場所であったと思うが、今はかなり子どもの数も増えており、赤ちゃんとか小学生の利用が増えていると聞いている。

前回のタウンミーティングで、児童館を増やしてほしいという話をしたときに、市長はこれからコミセンに児童館的役割を持たせていきたいという回答だったが、具体的にどのような考えなのか聞きたい。

##### 【市長】

桜堤児童館は、現在2階は保育として利用していますので、1階の利用ということになります。児童館については、第五期長期計画の中でも、児童館の機能を全市的に発展させることとしています。各小学校に設けているあそべえという施設をもう少し機能強化をして、子どもたちにより一層遊びやすい環境を生み出していくとともに、コミセンなどを利用して、さらに子どもたちの遊びやすい環境を各地域で工夫をしていくような取り組みを行うことによって、市内に1館だけである児童館は解消していこうという考えです。



総合的な子育て支援の中で今求められているものとして、乳幼児の皆様への対応というのが課題となっています。例えば0123という施設がございますが、市内には2施設しかありません。大変需要が多い施設ですので、西部地区に何とか設けていこうという考えがあります。もう一つ、市では子育て支援機能を盛り込んだ形で、すくすく事業という名称を使い始めましたが、そういう機能も必要ではないかということもあわせて、これから具体的に検討していこうという段階でございます。

児童館としては、全市的なこととして考えていくと同時に、市内の1カ所である桜堤児童館については、今後そのような機能変化、シフトをしていくという考え方を持っているところでございます。

あわせて、現在子どもプランという計画を策定しておりますので、その中でも議論をいただいておりますし、また、これから第五期長期計画の見直しという段階に入っておりますので、そこでも十分な議論をしていきたいと思っております。

## 2. 保育園等の定員増について

### 【ご意見】

私の孫は1歳3カ月だが、現在、待機児童として登録されており、たまたま保育ママさんにお世話になることができたが、来年度はどうなるのか心配になっている。11月の相談とか、いろいろ申し込み等があると思うが、これからもっと保育園の受け入れの幅を広げていくのかを含めて、具体的に教えてほしい。

### 【市長】

特に桜堤地区につきましては、冒頭でお話しましたように、子どもの人口が大変増えており、かつ保育園がまだまだ十分ではないということで、待機児童が出ております。4



小規模保育施設

月1日時点では208名の待機児童ということで、昨年以上に増えてしまいましたので、緊急対策として保育園の定員増ということを鋭意努力しています。

結論から申しますと、今年度で300名規模の定員拡充を図ろうということで、この4月、6月、7月にもそれぞれ認証保育所、グループ保育を開設しました。そして10月には、まちの保育園という認可保育園も開設する予定です。また、来年4月1日には80名規模の認可保育園を武蔵野中央公園の目の前に開設したり、グループ保育や小規模保育の施設を今年度内に開設し、定員拡充を図る予定でございます。

現在ニーズ調査をしていますと、それでもなかなか待機児はゼロになりにくいのではないかということも一方で見ております。今後いろいろなニーズ調査も含めて、軌道修正をする必要があると思っていますので、今年度の後半になりますが、保育園の定員拡充についての可能性をさらに追求をしていきたいと思っています。

### 【ご意見】

保育事業について、二度、三度重ねて意見することにはなるが、地域のお住まいの方にも事情をご理解いただきたいと思い発言させていただく。

私も2歳の息子がいるが、保育園に預けられなかった。ご高齢の方からすると家庭で保育したらいいと言われるかもしれないが、私自身キャリアを続けたいという思いで就業を選択した。現在桜堤の団地の中にある保育室に通っているが、先ほど市長の話にあった208名の待機児童には、認可保育園に入れずグループ保育室に通っている児童は入っていない数字であり、実際のところはもっといるというのが現状だと思う。

境や桜堤二丁目のファミリー世帯の急増において、私のような2歳以下の児童を持ちながら働き続ける世帯というのがすごく多いと思っている。

市長のほうから保育施設のご説明をいただき、皆さんの大切な市税を投入してつくっていただくものなので、本当にありがたいと思っているが、地理的な面では西部地区から、新しい施設に連れて行って、そのまま仕事に出掛けるというのは大変つらいところがある。こちらから中央公園のところまで朝預けて、そこから三鷹なり何なりに行くというのは、やっぱり厳しいところがある。

個人的な意見としては、団地の方のご理解はいただかないといけないと思っているが、

何とかこの西部地区で、0歳から2歳はグループ保育室や小規模保育室でいいので、団地の空き室を利用した形での小規模保育も含めて施設の検討をしていただいて、地域の皆さんにもご理解いただきたい。その上で3歳以降の児童の接続のほうも引き続き考えていただければと思う。4月以降の開設の情報を期待しておりますので、引き続き市長にはご検討いただきたいと思いますと思っている。

#### 【市長】

全市的な問題とはいえ、結構地域によって待機児童のバランスが違いますので、それも十分配慮して、保育園の誘致を検討しているところです。

あわせて、現在検討中なものとしては、境南地域に1つグループ保育室等を考えております。また、吉祥寺の某ホテルの中に小規模保育室を予定しておりますが、さらに地域の事情を考えながら、そういうバランスに配慮した保育園の誘致というのでも検討していきたいと思っております。



### 3. コミセンの児童館的役割について

#### 【ご意見】

これも子育てになるが、私の耳に入ってきた件を伝えたい。児童館は小さい子から中学生までが利用できるという施設で、長年利用している方がおられたが、今年から待機児童対策で2階が使えなくなって、時間制限ができてしまった。朝は乳幼児、午後からが小中学生ということで、この夏休みに幼稚園以下のお子さんと小学生をお持ちのお子さんの世帯など、兄弟が遊ぶところがなくなったということで結構お困りの方がいらっしゃるようだ。

今までは、小さい子も大きい子も一緒に遊ばせられるので安全で安心していたのに、いきなり行けなくなってしまい、路頭に迷っているという方が何名かいらっしゃるという話を聞いている。この夏休みは難しいが冬休みに向けて、この西部コミセンの施設を活用するとか、何かいい形でそういうニーズを解決するような策を検討してほしい。

あと、私自身子育て支援をこの地域でいろいろやらせていただいている、西部コミセンも和室等をお借りして本当にありがたいと思っている。毎週金曜日に親子ルームということで開放していただいているが、何分おもちゃ等がないのでなかなか遊びに行きづらいという声を聞いている。

私も働いている関係で、平日なかなか、そこを借りて、おもちゃを置いて見守り保育をするというわけにはいかない。コミセンの予算は限られていると思うので、おもちゃを私たちから寄贈しても構わないので、おもちゃを置くような形でもっと使い勝手のいい親子ルームにしたいと思っている。その中で、高齢者の方との交流ができればいいと思う。

#### 【市長】

現在、桜野小学校の校舎を増築していることもあって、なかなか子どもたちがあそべえ

を利用しづらい、工事中のところに行きにくいという状況もあるようで、この夏休みは児童館に集中しているようです。この夏休みに急に変わるのには難しいと思いますが、夏のいろいろな反省も踏まえて今度の冬休みとか、長期休業中の利用の仕方については再度検討したいと思っています。

そして、地域のいろいろな施設については、世代に関係なく皆さんに利用していただきたいと思っています。コミセンもスペースに限りがありますから、例えば子どもたちの遊ぶ環境というか、時間帯も含めて、譲り合っているいろいろな方が使っていただけるように工夫していただければと思っています。

#### 【木川西部コミュニティ協議会会長】

西部コミセンには、以前、地下に幼児室がありましたが、ほとんど利用がなかったので、有効に使うために小さな会議室に変えています。最近は子どもたちが多くなっているので、とりあえず週に1回、金曜日の午前中は和室を1部屋開放して、お友達と一緒に来て、そこで自由に利用できるようにしています。

まだ、実際にどういう利用方法がいいのか、おもちゃとかそろえたとして、どの程度の方が利用されるのかというのはわかりませんので、なかなか予算化をしていくことはむずかしいです。

今は、実際にどのくらい利用があるのか、そういうことがもう少しはっきりした段階でいろいろ検討をしていきたいと思っています。子どもたちには大いに活用していただきたいと思っていますが、子どもたちがいないということにコミセンの利用者の方も慣れてしまっているので、協議会も含めて、小さいお子さんを受け入れるという気持ちになじんでもらう時間が必要なのかなと思います。順次協議会の中では検討して、前向きに取り組んでいきたいと思っています。

#### 4. 歴史資料館（武蔵野ふるさと歴史館）の土地・建物使用料について

##### 【ご意見】

旧西部図書館跡の利用について、今まで図書館として使われているときには、東京都へ使用料を出していなかったが、今度は使用料を払うことになるかと聞いたが、確かなことなのか。

それから、旧西部図書館跡では保管してある歴史資料が収まらないのではないかと心配もある。今旧桜堤小学校にあるものも全部収まるのか。

##### 【市長】



武蔵野ふるさと歴史館

ご案内のとおり、旧西部図書館跡を利用して市の歴史資料館（仮称）にする計画を進めております。しかし、いろいろな課題について指摘を受けています。面積が1,000平米で、今まで集めた資料をそこで展示できるのかという心配もあります。歴史資料館については、そこで一部展示をしますが、全てを収蔵するのではなくて、収蔵庫は別個用意し、分散的に保存をして、必要なものを資料館で展示してくることを考え

ています。

旧桜堤小学校に保存しています資料についても、全てを歴史資料館に収蔵することは難しいです。今まで集めてきたものをもう一度精査をして、必要なものをある程度ピックアップしたり、別途収蔵庫に保存するなどということを考えています。大切なものは収蔵庫などで保存し、適宜、資料館を使って、展示をして皆さんに見ていただくことを予定しています。

それから、使用料については致し方ないことと思っています。これまでは地域の施設ということで30年間近く無償提供いただきましたが、話し合いの結果、東京都側としては、今後はそういう無償提供はしておらず、都の施設を利用する場合、一定程度の使用料を払ってほしいということでした。公共的な利用ですので若干の減免はございましたが、基本的には支払わなければいけないという状況だと思っています。

## 5. 高齢者の支援について

### 【ご意見】

高齢者事業に関して、国の方針が出たと思う。要介護3以上の方は優先的にもちろん施設に入りやすいとは思いますが、一番問題なのは、今現在元気だが、支援をしていただければ1人で生活できるとか、1週間に2回程度そういう施設を利用すればもっと元気にお過ごしになれるのではないかという方への支援が削られてしまうことだ。



この地区の場合、先ほど市長も話していたように高齢者の方が増えているので、お互いにいい関係で楽しく生活できたらいいなと思っている。とても支え合いがよくできているまちだと思うが、さらに要支援1、2の方が通いやすいような施設を市としてはどういう方向で考えているのか聞きたい。

### 【市長】

冒頭でも申し上げましたが、市の高齢化率が21%ということで、東京都の平均より若干高くなっています。全国の25%に比べるとまだ低いですが、市の場合、独居高齢者、つまり単身で住まわれている高齢者の方が極めて多くなってきたということから、ますます地域の支援、ネットワークということが大切な取り組みになってくると思っています。

現在、高齢者福祉計画と介護保険事業計画の見直しを行っており、まさに今後増えてくると思われるそういう高齢者の方をどうやって地域で見守れるかということを議論しております。一方、介護保険制度が大幅に変わることになり、ご案内のとおり、要支援1、要支援2の方について、本来であれば介護保険事業で行っていたものを切り離して市町村がやりなさいということで分けられることになりました。全国的には大変厳しいのですが、武蔵野市としては、今までのサービスが低下しないように、要支援の方につきましても、今までと同様なサービスが受けられるようなことを今考えております。

ただ、もう一方で、例えば特別養護老人ホームに要介護3以上の方が優先して入れると

いう国の方針が出てきておりますけども、これについても、原則、現状で入られている方はもちろん継続をしてということで、あくまで施設入所が必要な人については引き続き入所できるようなことを考えていきたいと思っております。



そして、要支援の方も含めて、施設が必要な方には、ぜひ施設に入っていただくような形で施設も整備しなければいけません。できればこれから高齢者も増えていき、介護が必要な人も増えていく中で、施設ばかりを増やすわけになかなかいきませんので、在宅での支援をより拡充をしていきたいと思っております。

武蔵野市でも在宅支援の取り組みを進めておりますが、地域のつながり、地域のお力なくしてなかなかきめ細かな支援ができないと思っております。今まさに、地域福祉の会の皆様もそうですが、地域の見守りをはじめとして、どうやって支援を差し伸べることができるかという、具体的な検討を進めていただいておりますので、いろいろな試行錯誤をしながら、よりよいネットワークづくりを地域でもつくっていったらと考えているところでございます。

#### 【ご意見】

お子さんの話も大変大事だが、私らのような老人もこの地域には大変多い。さっきの市長の話にあったが、うちの団地の昔から住んでいる人たちは、みんな既に私のように70過ぎ、80代の人ばかりです。私もこの団地だけで老人の孤独死を4件面倒見てきた。ですから、高齢者も大事にさせていただきたい。そのためには、何はともあれ、このコミセンに携わる、運営に携わる全ての人が人にやさしい、そういう感覚を根底に持ってもらいたいと思っている。

コミセンができて既に40年、正確に言うと境南町に第1号ができて今年で38年。その間、最初から行政側は、金は出すけど口は出さないという非常に民主的な格好で今までやってきたが、約40年たった今、そのひずみというか、ダークな部分が少しずつ染み出してきているのではなからうかと感じている。それを直すためには、やはり根底から人が人にやさしい、そういうことをやっていかななくてはいけない。要介護の事業にしても何にしても、人にやさしくするという感覚がなければ、何をやっても組織的にはうまくいかない。予算を執行する全責任者である市長には、その辺のことも考えて、それらがうまく機能するような予算の執行をしっかりとっていただきたい。

#### 【市長】

おっしゃるとおりだと思います。一人ひとりを大切にするというのは、実は今年度の市のスローガンにしています。国の制度が、ややもすれば枠組みの中であまりそういうところまで配慮されていない制度になりつつあるのではと思いますが、武蔵野市は制度の枠組みにとらわれずに、一人ひとりに合った様々な福祉政策を考えていくべきだということを職員に申していますし、具体的な計画にもそのことを書き込んでいるところです。

コミセンについても、そういう視点で運営をされていると思いますが、子どもから高齢

者まで全ての方が利用できるのがコミセンだと思っております。先ほどもいろいろな工夫をされている状況を聞いてうれしく思いましたが、そういう視点で、一人ひとりを大切にしたいそれぞれの地域づくりを私も望んでおりますので、一緒に進めてまいりましょう。ありがとうございました。

## 6. 武蔵境の魅力について

### 【ご意見】

今若い人たち、特に学生は、武蔵境駅に対する思いがかなり薄れてきていると思う。アパート経営をしているが、武蔵境から退去する方がかなり多い。なぜ退去するかと聞くと、魅力がないというふうにみんなが言っている。武蔵境に住み続けてもらうために、まちの活性化とかが必要だと思うが、それに対するの考えをお聞きしたい。

### 【市長】

私の認識と若干異なるのでまた教えていただきたいと思いますが、実は、一般的には武蔵境の人気は非常に高まっていると認識しています。不動産会社等の調査でも、このところ、武蔵境の物件の価格が大変上がってきているということもあり、評価いただいているのではという認識がありました。

学生の皆さんもわりと武蔵境周辺でいろいろな活動をされており、プレイスには多くの地域を超えた学生さんたちもお集まりいただいているので、見た目には学生の皆さんは大いに武蔵境を注目してくれているのではと思っているのですが、実際にアパートから退去されているということがあったとすれば、その辺についてはもう少し探る必要があるかもしれません。



武蔵野プレイス

何か機会を捉えて、あるいは学生とのタウンミーティングを以前亜細亜大の皆さんと一緒にやったこともあるので、そういう意見交換の場も設けながら、武蔵境の魅力については、若者の視点でのご意見を聞いていきたいと思っています。

## 7. 児童館機能の継続について

### 【ご意見】

先ほども話があったが、子どもを4人育てており、小学校3年生の子どもをはじめ、小学生、幼児、乳児がおり、児童館が今時間制なのでとても困っている1人です。

世の中の動きとして、待機児童対策ももちろん大事な案件だと思うが、少子化対策、それから幼児虐待、子どもの虐待の事件などがたくさん起きている中で、児童館の役割として、そういうところをすごくカバーしていると思う。専門知識を持った先生がいることで母親たちのストレスや話を聞いてもらったり、悩みや相談に乗ってもらえてすごく助かっている。

また、子どもの異年齢の交流があることで、小学生になるとこんなことができるようになるんだ、もう一人欲しいと思っていたから頑張ってみようかなと思えたり、大きい小学

生の子どもたちにとっても、乳幼児がいることで、危ないから気をつけようと思ったり、やさしい気持ちを持ったり、兄弟がいない子どもさんが多いと思うので、そういう子に関してはやさしく接したり、妹みたいな、弟みたいな存在ができたり、すごく大事な場だと思っている。

西部地域は、もちろんたくさん新しい方が住んできて、人口が増えているというのもあるが、子どもの率がすごく高い。4人、5人、6人なんていう方もかなりいるが、それは本当に育てやすく、過ごしやすい児童館もあったおかげではないかと思っており、今、児童館が求められていると私は感じている。しかし、市長は0123が必要があるとのお考えのようだが、0123だと3歳までしか行かれなくて、小学生たちはあそべえで、限られたところにしか行くことができなくなってしまうので、0123を児童館に変えていくという考えはないのか、ぜひお願いしたい。

#### 【市長】

ご意見としてはあるのかなと思いますが、今の現状では、0123自体は非常に評価をいただいて、利用者も多いということなので、現在の0123をほかに変えるという考え方はございません。逆に、0123がない西部地域に欲しいという声もありますので、そういうことも踏まえて現在計画をたてている状況でございます。

ただ、児童館の機能というのは私も認識しています。現在は桜堤だけなので、一部の地域の方のご利用になっていますので、それをどうやって全市的に児童館的機能を拡充することができるかということが課題だと思っておりますので、それについても同時に検討していきたいと思っております。



### (3) 西部地域の多世代交流と居場所づくりについて

#### をテーマにした意見交換（要旨）

#### 1. コミセンのあり方に対する意見について

##### 【ご意見】

6月にコミセンの運営がいかにスムーズに円滑にいくかという研究会があったが、そのときに発言したことについて、どのように具体化される方策になってきているのか聞きたい。2カ月たっているくらいなので、まだちゃんとしたものは出てきてはいないだろうが、そういう発言に対して、どのようにしたのか明確に対応してもらいたい。

これはほんの一例だが、新しい図書館で、借りた本を返しに行ったらたまたま休みで、その本を返すのにぐっと回って裏口まで行かないといけない。足腰が弱っているのが大変苦痛だという。そのことを図書館で話したら、翌週には、正面玄関のところへ新しい本を返す箱がちゃんと置いてあった。そういうのが人にやさしい、言われたことをきちんと対応しようという姿勢だろうと思う。

今後ともコミセンの運営に関して、今までみんなから出てきた知恵が1つずつきちんとなされていくような、明確な返答をこういう機会にしてほしい。

##### 【市長】

現在、コミュニティのあり方検討委員会を開催中で、その中間の提言をいただき、それをパブリックコメント、あるいは意見交換をしようということで開催させていただきました。まだその結論が市に提出されていませんが、確実に意見交換で出された意見は報告書の中に何らかの形で反映されるものだと思いますし、さまざまな声を大切にしないといけないと思っています。先ほどの武蔵野プレイスでの対応のように、常日頃からいろいろな課題についてご指摘をいただければ、さまざまな対応をさせていただきたいと思っています。



##### 【北原市民活動推進課長】

地域コミュニティの委員会を所管しております市民活動推進課長の北原です。6月に武蔵野プレイスで意見交換会を行い、30名近くの市民の方にお越しいただき、150項目ぐらいの意見をいただきました。それを整理して7月の委員会で説明いたしました。委員会では、いただいたご意見に対する検討を行っており、9月の下旬から10月ぐらいには、その結果についてお示しできる段階になると思いますので、その際に、提案をいただいた方だけでなく、市民の皆様にも、このような方向で進めたいという説明をできると思います。

#### 2. 旧西部図書館のブックポストについて

##### 【ご意見】

境に住んでいる。私は五丁目なので、旧西部図書館が今度は郷土館になるということで、うちのほうは年寄りも多いので、皆さんが集まれるような部屋をつくってほしいというお

願いを何回かしていたところ、それもつくってもらえるようなので、ありがたく思っている。

それと一緒に、今、旧西部図書館の所に図書館のブックポストが2つあるが、それを郷土館になっても置いてほしいと思っている。というのも、お年寄りの皆さんが旧西部図書館をすごく使っていて、時間までにブックポストに入れると次の日には届くので、そうすると今度図書館には手ぶらで行って借りることができると思うので、残していただきたい。今の場所でもいいし、どこでもいいので、皆さんに宣伝していただきたいと思う。

#### 【市長】

図書館まで返しに行くのがなかなか大変なこともありますので、図書館そのものは増やせませんが、ブックポストという形で、もう少し拡充できないかということを教育委員会で現在検討しています。なるべく既存のものがあるとなれば、その存続については検討したいと思います。

### 3. 多世代交流について

#### 【ご意見】

境に住んでいる。第2部のテーマが「西部地域の多世代交流と居場所づくり」ということなので、ちょっと意見提供させていただきたい。私自身、子育て支援活動をしており、西部コミセンで親子ひろばを開催したり、ベビーマッサージのイベントをやったり、仲間が幼稚園セミナーをやったり、保育活動セミナーをやったり等、いろいろ地域の子育て世代の交流を図って、この武蔵境地域の子育てを楽しく活性化したいと思って活動をしている。

その中で、自分たちを含め子育てしている世代同士の交流はあるが、こちらにお住まいの高齢者の方、子育てが一段落された子育ての大先輩の方との交流の機会がなかなかないというのが現状である。せっかく皆さんが集うコミュニティセンターなので、コミセンでやる子育て事業、子育てのイベント、地域の皆さんにも参加していただくような形をとれないかと模索している。

ご高齢の方には、小さいお孫さんみたいな子とふれあうことでちょっと元気を取り戻したり、笑顔を取り戻していただけるといいかなと思うし、逆に私なんかは、近親者が近くになくて、主人と私だけで子育てをしているので、地域に身近なおじいちゃん、おばあちゃんがあると、息子もそれなりに楽しいかなと思っている。息子は保育園に行くと、地域で育っていくので、その地域で知り合いのおじいちゃん、おばあちゃんがあると、それはそれでまた息子も楽しいと思う。

そういう形で、このエリア、西部地域の子育てと高齢者の方の交流ができればと思っている。そういうイベントをコミセンで行う場合は協力させていただきたいと思っているが、皆さんのニーズがあるのか不安にも思うので、その辺のご意見を参加者の方にお聞きしたい。

### 【木川西部コミュニティ協議会会長】

先ほどもお話しましたが、実際にコミセンが何をしたらいいのかということがよくわからないので、親子広場などを通じて、若い世代の方たちがどういう企画で地域との交流を考えているのか上げていただき、そして企画から一緒に参加していただいて、運営委員会の中で、またみんなと相談しながら、そういう機会をつくりたいと思っています。

### 【ご意見】

私、今から十数年前まで住んでいた団地の副会長をやっていたが、そのころから考えていたことは、だんだん年寄りばかり増えてくるが、お年寄りたちは1人になって寂しいので、そういうときに小さいお子さんが遊びに来てくれたら、とても楽しいのではないかと、そういう思い入れもあり、市役所の防災課に行って、広い幕を3枚もらって集会所へいっぱい広げて、土足で入ってきてもいいように、またお子さんたちが寝転がれるように、そして私たち年寄りと一緒に1日を楽しく過ごす、そういうようなことを計画したことがある。残念ながら、私が理事会の役員をやめたので、それをいつか、誰かがやってくれればいいかと常々考えていた。

今日は団地の会長さん、副会長さんが来てくれているので、知恵を出し合って、年寄りも楽しめる、赤ちゃん、お子さんたちも楽しめる、そういうひとときを、コミセンも大事だけれど、団地の場合だと、広場を使えば、結構広いところがあるので、そういうようなことを考えていただければいいかなと思う。

### 【市長】

いいご提案だと思います。市内でどんなことをやっているかと思いついていたんですが、例えば境南町にある花時計というテンミリオンハウスでは、最初から乳幼児とお母さんたちと高齢者の皆さんの交流の広場がありますし、また、吉祥寺西コミセンでは、地域の子育てが終わったお母さんたちが小さい子どもたちに遊びをいろいろ教えるという、そんな取り組みがあったと思います。



テンミリオンハウス花時計

確かにコミセンに限らず、いろいろなところでそういう可能性がありますので、地域ならではの交流のあり方をぜひ実現していただければと思っています。ありがとうございます。

## 4. 学生の地域活動参加について

### 【ご意見】

家は市外だが、祖父が境に住んでいたため、1年半ぐらいそこで過ごしたことがある。その当時家の前を通っても亜細亜大学の通学している学生だと思われて、ご近所の方と挨拶する関係になることができなかった。本当は災害とかが起きたときに、自分の知り合いが近所にいないというのも怖かったし、祖父の介護をしながら一緒に暮らしていたので、そこで何か悩みがあったときに、もし皆さんとのかかわりがあれば相談することもできた

のかなと思っている。

私が地域の方とかかわることができなかったのは、もしかしたら気づいていなかっただけで、もしかかわる機会があるのなら教えていただきたいし、あと、平日の運営は手伝うことはできないが、例えば土曜日だけとか月に1回の行事だけなら手伝えるとか、そういう学生でもかかわれる方法があれば、ぜひ教えていただきたい。

#### 【木川西部コミュニティ協議会会長】



西部コミセンは、運営委員の方は桜堤、境地域の方に限定させていただいていますが、協力員については地域限定をしておりませんので、何かイベントと一緒にかかわっていただくということはできます。それから、協力員にならなくても、市報を見る機会とかがありましたら、西部コミセンの欄に、いつ何をやりますという案内が出ますので、そこでお問い合わせいただいたり、そのときに来ていただいて一緒にやっていただくことは十分できますので、どうぞいらしてください。

#### 【市長】

地域で若い人の参加は大歓迎ですので、例えば登録制度にして、いろいろなイベントのときには積極的に来てもらうとか、そういうつながりを着実にしていくのもいいかもしれません。

それから、この地域では、南側に亜細亜大学がございますが、4月に武蔵野市と包括的な協定を結びました。つまり、何でも助け合いましょうというような、使い勝手のいい緩やかな協定を結びましたので、いろいろな要請をしていただいてもいいのではと思っています。

一方で、学生さんたちにお手伝いしてもらうだけではなく、亜細亜大学の学生を応援するような、例えば野球の応援でもいいですよ。あるいは就職口、うちに就職してもらってもいいよとか、そういうことも含めて、地域でできる応援など、そんな協力もできたらよりよいのではないかと思います。

### 5. 旧桜堤小学校の活用について

#### 【ご意見】

自治会の役員をしている。お祭りがあったときに驚いたのが、子どもたちが増えたことで、集計をとってみたら、全部で集まってくれた人は去年の約50%増だった。私どもの体制が不十分だったもので多少ご迷惑をかけてしまい申し訳なかったが、増えた数の大部分は、実は新しくできたマンションの子どもたちで非常に多かった。

今、市では桜野小学校の増築を計画されているようだが、その隣に旧桜堤小学校があり、廃校になってから10年ぐらいたっていると聞いているが、あの跡地をどういうふうにするのか。また学校にするのか、ほかの計画があるのか。市としての考えを教えてください。

たい。

#### 【市長】

ご案内のとおり、今、桜野小学校の児童数は増えておりまして、800名を超えたかもしれませんが、市内一のマンモス校でございます。当面、数年間は増加をしていくという予想なので、今増築工事をして、教室についてはやりくりで大丈夫かもしれませんが、校庭が狭いので、旧桜堤小学校の校庭部分を第2グラウンド的な形で利用していこうというのが当面の予定です。

しかし、今、旧桜堤小学校の校舎と体育館が残っていますが、いずれも耐震的に課題があり、桜野小学校の一定程度の児童数の課題も解消した時点で、校庭をこの西部地区のスポーツ広場として整備しようという予定となっております。今後、桜野小学校の児童数がどこまで伸び続けるか、それも見守りながら、その利用についても再度検討し、時期については確定をしていきたいと思っています。

時期については、少なくとも、今、旧桜堤小学校の建物を解体する工事をしてしまいますと、全体が使えなくなってしまいますので、ここ1、2年は、工事はストップしようということでございますので、それ以降だにご理解いただければと思います。

### 6. 武蔵境駅北口のバス停について

#### 【ご意見】

境に住んでいる。以前に武老連（武蔵野市老人クラブ連合会）の会議でも発言したが、実は駅前のバス停について、今までは駅を降りてすぐそばにあったから、一番近くて本当にありがたかったが、今度は一番遠くなった。この間、スイングで会った人が、駅前のバス停に行くより近いからと言って、スイングから自動車教習場のところまで歩いていった。

先日の会では、工事に1年半かかるという話を聞いたが、場所を変えるということははっきり言って無理らしいので、1つお願いしたいことは、今までは乗り降りするときに歩道から乗っていたが、今は車道なので、バスに乗るときの段差が高くなり、足腰の弱い方だと本当に一苦労している。バスを利用するたびに見ていて、そばにいて、手をかしているが、できたら桜堤団地行きだけのバスのステップをつくるのはむずかしいので、武蔵野市で対策を考えてほしい。



武蔵境駅北口広場完成イメージ図

#### 【市長】

バスの乗降場所でのステップの問題だと思います。技術的な面では答えにくい部分がありますが、確かにあそこは歩車道の区別がなく、同じ高さで乗降してもらっていると思いますので、低床式のバスだとしても、ある一定程度の段差が生じているわけです。それはバス会社とも相談をして、何か工夫がないかどうか、場合によっては、例えばひよっとしたら後ろの出入り口のほうが低いような可能性もあるし、車椅子の乗降のときには後ろを開けてスロープを出しますよね。そういうことも含めて、対応できるかどうかについて確

認をしてみます。ただ、あそこは暫定的なものですから、恒久的な施設整備はできませんのでご了承ください。

## 7. 地域での支え合い、武蔵野の歴史の伝承について

### 【ご意見】

桜堤に住んでいる。皆さんに支えられながら、微力ながら民生委員という仕事をやらせていただいている。私の受け持つ地域は、サンヴァリエの一部と新しくできたマンションの両方を含んでおり、本当に武蔵野市の縮図みたいなところである。片や高齢化、片や若年層化、いろいろな課題があるが、やはり今までのような考えでの福祉の取り組みとか、地域の取り組みというのではなかなかもう追いつかないという気がしている。

今まではどちらかというと、助ける人と助けられる人に分かれていて、行政はどのようにして助けるか、あるいは地域でそういう仕組みをどうやってつくっていくかということだったと思うが、これからの時代はそうではなく、お互いに助け合う、そういう仕組みを本当につくっていく必要があるのではと感じている。なかなか正解は出ないと思うが、そういうことを皆さんと一緒に考えていく時代にきていると思う。あと10年たつと、今の団塊の世代が後期高齢者になるので、その時代を見据えて、今からどうやってそういう仕組みをつくっていくかということが非常に必要だと思う。私も微力ながら頑張っていきたいと思っている。

それから、地域の世代間の結びつきというのが非常に大きな課題になっていると思うが、地域に歴史資料館というものができると聞いている。幸いなことに、この西部地域には非



国木田独歩の碑（関前五丁目）

常に豊かな歴史的な遺産がたくさんあり、江戸時代からの玉川上水だとか、桜堤の桜は徳川吉宗公が観光開発のためにつくったとか、そういう立派な歴史も持っている。国木田独歩の話もあるし、武蔵境駅も中央線では一番早くできた駅だった。そういう豊かな歴史の話があるのに、あまりそういうことが知られてなかったのも、これを機会に百選などのように、ぜひ文化の面にも取り組んでいただいて、

地域みんなが共通な話題にできるような、そういう仕組みをつくっていただきたい。

### 【市長】

大変幅広いご意見をいただきました。まさにこれからの地域社会は支え合いが大切だろうと考えておりますので、公助というベーシックな必要最小限のものもきちんとやらないといけません。それに加えて共助、つまり支え合いですね。地域での支えも大いにあらゆる分野で取り組んでいかなければいけないと思っておりますので、共助に向けた取り組みも、福祉計画の中で重要な視点として捉えております。

そしてもう一つは、世代間のつながりということの中では、先ほどもほかの方からご提案いただきましたが、いろいろな機会があり得ると思います。先日行われたサンヴァリエの夏まつりも、若い方や子どもたちも来られたということで、出会い、きっかけ、交流の大きな場面だったと思います。お祭りをやるには大変苦勞されると思いますが、その苦勞

以上の成果が絶対あるのではと思いますし、みんなで楽しむことをやるのが実はコミュニティの輪が広がることではないかと思っています。

また、あわせて地域性ですね。どこの町と同じではなくて、ここならではのいろいろな特性があると思っています。実は皆さんにはあまり知られていないのですが、歴史的に大変この地域はいろいろな資源を持っています。玉川上水の歴史もしかり、あるいは武蔵境の駅も125年目を

をちょうど迎えております。そういう歴史を、歴史資料館という施設もできますので、ぜひ地域の子もたちの、あるいは新しく入られる方にも伝えていく中で、今から新しいまちづくりをするのではなくて、昔から積み重ねられた地域でつながっているんだよということぜひ伝えられたらと思います。

そうすることによって、地域の一体感がより増してくるだろうし、いわゆるアイデンティティが増して、地域に対する愛情も深まってくるのではないかと思いますので、人のつながりと同時に、地域のいろいろな要素をつなげていくことをぜひ進められたらと思っています。



## 8. 旧桜堤小学校の工事の時期について

### 【ご意見】

桜堤に住んでいる。先ほど旧桜堤小学校の跡地をスポーツ広場のようなものにするという話だったが、工事に取りかかるまでが1、2年というが、まだ児童数は増加するので、何をもとに1、2年で工事が始まるということなのか。

### 【市長】

具体的なことは、再度整理して説明しないといけませんが、とりあえず今は児童数が増えている中で、工事中のために校庭が満足に使えていない状況なので、そのかわりに第2校庭として使うということが今の方針です。工事が終わった時点で一定程度の校庭が確保できますので、その中で利用できれば、そちらを占用してもらおうということで、そうなったら撤去工事を始めて、総芝生にして、もちろん子どもたちも使えるような形になればいいのではないかと考えているところです。

## 9. 多世代交流活動に対する市の補助について

### 【ご意見】

先ほどの多世代の交流に関して、先日、テレビで再放送を見た。NHKのEテレでやっていた埼玉の北本団地だったと思うが、リビングルームというNPO法人の方が運営していて、物々交換をもとに多世代の交流を図っているというものだった。すごくいい内容で、全員の方が利用しているわけではないのでわからないが、孤独死の問題とか、子どもたちの居場所とか、いろいろな問題がかなり、改善されているのではないかと思った。

西部地域というのは桜堤団地がかなり大きな幅を占めていて、大きなスペースなので、そこの中で何か1つでもそういうコミュニティがあればいいなと個人的に思った。例えばそういうことをやる場合、市から助成というか、例えば団地の中の1室を使う場合に、何か手助けというか、そういうものがあれば、やろうとする方も出てくるのではないかな。

**【市長】**

はい、わかりました、お金出しますというのはなかなか言えないです。そういう提案も受けとめましたので、活動をどうやって支援できるかですね。今、市でも市民活動をどうやって支えていくか、いろいろな検討をしております。あるいはそういう組織があったとすれば、NPOや市民活動に対しての助成制度もございますので、そういう制度も活用していただきながらやっていただくといいのではないかと考えています。

ご提案ありがとうございました。



### (3) 閉会のあいさつ

#### 【木川西部コミュニティ協議会会長】

今日はいろいろなご意見を承りまして、本当にありがとうございました。ご意見やご希望をなるべくコミセンの中で実現できるように、運営委員一同で考えていきたいと思っておりますので、皆様のご協力もよろしくお願ひしたいと思ひます。

どうもありがとうございました。



#### 【市 長】

本日は、本当にいろいろなご意見をいただきましてありがとうございました。まだ言い残したことがあれば、ぜひアンケート用紙に書いていただきたいし、先ほど司会の方がおっしゃっていたように、私も結構まちを歩く機会がございますので、捕まえていろいろご意見をいただければうれしいと思ひています。

これからはいろいろな形で皆さんの声を聞いていきたいし、課題解決はなかなかできない面もあるかもしれませんが、その努力は惜しまないで頑張っていきたいと思ひています。コミセンが中心となって、さらにいろいろな市民の皆さんが一体となって、この地域がより一層魅力的な地域になりますよう、私も最大限応援してまいります。

本日は、誠にありがとうございました。



## 2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針

(※アンケートでいただいたご意見も含みます。また、同じ趣旨のご意見については、一部割愛しています。)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1	高齢者の支援	<p>要介護3以上の方は優先的に施設に入りやすいとは思いますが、一番問題なのは、今現在元気で、支援があれば1人で生活できるとか、1週間に2回程度そういう施設を利用すればもっと元気にお過ごしになれるのではないかとこの方への支援が削られてしまうことだ。</p> <p>この地域は、とても支え合いがよくできているまちだと思いが、さらに要支援1、2の方が通いやすいような施設について、市としてはどういう方向で考えているのか聞きたい。</p>	<p>特別養護老人ホームへの入所については、原則要介護3以上の方に重点化されますが、市では、要介護1・2の方であっても真に入所が必要な方については、入所が可能となるよう適切に対応してまいります。</p> <p>介護保険制度改正により、従来の要支援1・2の方の予防訪問介護・予防通所介護が介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)に移行され、市町村長の権限によるサービス提供となります。現予防通所介護を利用している要支援者に対しては、これまでと同程度のサービス供給を継続するとともに、新しい総合事業としては、現在市の事業として実施している介護予防事業等を基本としつつ、新しいサービスについても検討しています。その中で、要支援1・2等の軽度の方の通いの場についても検討してまいります。</p> <p>市の新しい総合事業の開始は平成27年10月を予定しています。</p>
2	くぬぎ園	<p>くぬぎ園の今後はどうなるか</p>	<p>平成27年度から28年度で建物を解体し、土地の所有者である東京都へ土地を返却する予定です。</p> <p>跡地に関しては、高齢者も障がい者も住み慣れた地域で安心して暮らしていけるための機能を持つ施設を整備してもらえよう、土地の所有者である東京都と継続して協議を進めていきます。</p>
3	地域とのつながり・支え合い	<p>今までは、助ける人と助けられる人に分かれていて、行政はどのようにして助けるか、あるいは地域でそういう仕組みをどうやってつくっていくかということだったと思うが、これからの時代はそうではなく、お互いに助け合う、そういう仕組みを本当につくっていくことが必要ではないか。</p>	<p>平成26年度に策定・一部改定しました健康福祉部の各計画(地域福祉計画、高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画等)では、“まちぐるみで支え合う仕組みづくり(地域包括ケアシステム)”を軸に施策を立ち上げ、実行する中であらゆる人・機関が関わり、支え合う仕組みづくりを行っていくこととしています。</p> <p>また、「これからの地域コミュニティ検討委員会」から提言された「地域フォーラム」(仮称)は、地域の課題を共有し、解決に向かうための足掛かりになるものと認識しています。このような場で、地域住民同士、地域と行政が知恵を出し合い、課題解決に取り組んでいくことが必要と考えています。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
4	地域とのつながり・支え合い	<p>介護や子育て中の家族の方々は、日々対応に追われ、地域や社会と繋がる余裕がないことが実態です。家族がフォローし合える仕組み作りを地域で検討しているが、地域と家族が繋がるきっかけが作れないため、手探りをしている段階である。</p>	<p>かつての地域には、お年寄りや子どもに対して、見守り手を差し伸べるような人と人とのつながりがありましたが、人間関係の希薄化が課題となっている今、地域の力を再生するようなしくみづくりは重要であると認識しています。</p> <p>市民社協では身近な地域で住民同士が出会い、つながるきっかけづくりとして居場所づくりの支援を行っています。すでに各地域で子どもや高齢者、介護をしている方などの対象別のものや、対象を問わない誰でも参加できる居場所が地域住民によって運営されています。</p> <p>今後、より多くの地域で居場所が運営できるよう、立ち上げの支援を進めていきます。</p>
5	地域福祉	<p>介護・子育てなどの地域課題と「地域福祉」(市民社協や福祉公社など)を組み合わせた考え方を進めてほしい。特に計画策定には「地域福祉」や「コミュニティソーシャルワーク」の視点を加えてほしいです。</p>	<p>地域福祉計画では、「市民が主体となる地域福祉活動の推進」として、地域における様々な生活課題について、関係機関と調整しながら解決を図っていくこととしています。</p> <p>また、子ども・子育て支援の取組みを推進する「子どもプラン武蔵野」は、福祉やまちづくり等の様々な部署と連携して策定しており、地域社協等による共助の取組みも、計画内に位置付けて進めています。</p> <p>福祉、防災、子育て等の課題は、地域と行政と一緒に取り組むべき重要な課題であり、縦割りで物事をとらえるのではなく、それぞれの課題を横断的にとらえて取り組んでいきたいと考えています。</p>
6	虐待問題	<p>(高齢・児童・障がいなど)虐待の問題をもっと具体化、表面化する工夫をしてほしい。そのためには、個人の問題で終わらせず、地域・社会全体で考えていきたいです。</p>	<p>市では、市内で平成24年度から高齢者及び障害者虐待防止連絡会議を開催し担当部署や関係機関等により、高齢者、障がいのある方、子ども等の分野を越えた関わりができるように情報交換や対応の検討等を行っています。</p> <p>障がいのある方については、まず本人が虐待と感じた時にすぐに通報・相談できる体制として、24時間365日対応可能な障害者虐待通報・緊急相談事業を平成26年4月から開始しました。また、迷わずに連絡をすることの大切さを認識できるよう、市報や広報誌つながり、こころのつながり等で普及啓発に努めています。</p> <p>さらに、地域の中で異常の早期発見、適切な機関につなげることができるよう市報や講演会等の開催による啓発活動を実施するとともに、支援関係者がサービス提供を通して気づいた異常について、アセスメントし、通報できるよう研修会も開催しています。</p> <p>児童については、厚生労働省では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と位置づけ、集中的な広報・啓発を実施しており、市でも市報掲載や広報掲示板(50カ所)にポスターを掲示しているほか、児童虐待防止キャンペーンとして吉祥寺駅頭で啓発活動を行うなどの取組みを行っています。</p> <p>虐待はデリケートな問題なので、個々の問題を具体化や表面化することが難しい場合も多々ありますが、ご意見のように地域・社会で防止に取り組んでいくことが望ましい姿だと考えますので、引き続き早期発見ができるよう啓発活動をすすめていきます。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
7	団地の活用	<p>お年寄りたちは1人になって寂しいので、そういうときに小さいお子さんが遊びに来てくれたら、とても楽しいのではないかと。</p> <p>団地で知恵を出し合って、年寄りも楽しめる、赤ちゃん、お子さんたちも楽しめる、そういうひとときを、広場を使ってできるのではないかと。</p>	<p>市民社協では、平成26年度に「ボランティア・地域福祉活動助成事業」において「居場所づくり」の助成区分を設けました。活動費助成だけでなく、居場所の立ち上げ相談にのったり、実際の活動に参加するなどの住民主体の活動に対する支援を行いました。</p> <p>いずれにしても、実施に際しては、住民主体での活動ということが継続性などを考えた時に重要となります。桜堤にある新しいマンションでも同様の取り組みが始まっています。</p> <p>また、コミセンなど地域に開かれた活動拠点に対して、地域の様々な情報をお寄せいただき、それらをさらに地域のなかでマッチングすることで、実現が可能になるのではないかと考えています。</p>
8	多世代交流	<p>自分たちを含め子育てしている世代同士の交流はあるが、高齢者の方、子育てが一段落された子育ての大先輩の方との交流という機会がなかなかない。</p> <p>息子は保育園に行って、地域で育っているので、その地域で知り合いのおじちゃん、おばちゃんがいると、それはそれでまた息子も楽しいんだろうと思う。</p> <p>そういう形で、このエリア、西部地域の子育てと高齢者の方の交流ができればと思っている。そういうイベントをコミセンで行う場合は協力させていただきたいと思っている。</p>	<p>コミュニティ協議会の活動には、運営委員、協力委員として多くの住民が関わっていただいています。ご意見のような企画も、どんどんお寄せいただきたいと思います。</p>
9	多世代交流活動に対する市の補助	<p>以前テレビで物々交換をもとに多世代の交流を図っているのを見た。すごくいい内容だったので、西部地域は桜堤団地がかなり大きな幅を占めていて、大きなスペースなので、その中で何か1つでもそういうコミュニティがあればいいなと思った。例えばそういうことをやる場合、市から助成というか、例えば団地の中の1室を使う場合に、何か手助けというか、そういうものがあれば、やろうとする方も出てくるのではないかと。</p>	<p>市民社協では、ボランティア団体による地域福祉活動の実践に対し、活動費の助成事業を実施しています。団地内部の自治会活動は助成対象となりませんが、団地住民限定ではなく、周辺地域住民との交流を目的とする事業(活動)であれば、助成の対象となる可能性がありますので、ご相談ください。</p>
10	保育所の入所基準	<p>子育てについて、両親の働き方の実態把握が重要となる。この数年で働き方の変化が大きくなっている。そのため、それらの把握に合わせて保育基準の見直しを希望する。</p>	<p>保育所等の入所基準(平成27年度から利用調整基準)は、毎年保護者の就労状況、待機児童の状況及び市民の皆様の意見等に基づき見直しを行っています。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
11	保育園等の定員増	保育園の受け入れ体制などについて、具体的に教えてほしい。	保育所等の定員は、平成26年度だけで367名拡充いたしました。今後も待機児童解消のために施設の整備を進めていきます。
12		地理的な面では西部地区から、新しい保育施設に連れて行って、そのまま仕事に出掛けるというのは大変つらいところがある。団地の空き室を利用した形での小規模保育も含めて施設の検討をして、その上で3歳以降の児童の接続のほうも引き続き考えていただければと思う。	待機児童解消には、施設の配置の地域バランスや3歳児以降の児童の接続にも留意しながら、小規模保育事業だけでなく他の種類の保育施設を含めて施設の整備を進めていきます。
13	児童館機能の継続	児童館には、専門知識を持った先生がいて、悩みや相談に乗ってもらえてすごく助かっている。また、子どもの異年齢の交流があり、すごく大事な場だったと思っている。0123だと3歳までしか行かなくて、小学生たちはあそべえで、限られたところしか行くところなくなってしまうので、0123を児童館に変えていくという考えはありませんか。ぜひお願いしたい。	0123施設は、特に初めての子育てでの不安感・負担感を軽減し、安心して充実した子育てができるよう0～3歳までのお子さんとその家庭を支援する施設で、大変多くの方に利用され、高い評価をいただいています。対象年齢を拡大するとすると、乳幼児の安全を確保するための様々な制約が生じることから、児童館へ変えていくことは考えていません。  また、今年度から児童館職員が巡回児童厚生員として地域子ども館あそべえや学童クラブを巡回しています。児童館で培われてきた遊びの提供や専門的な相談支援といった部分をあそべえ等に伝えていくことにより、あそべえ等の機能充実を図っています。
14	児童館の機能を持った施設の拡大	西部コミセンは、今までは児童館があったので、あまり子どもになじみのないような場所であったと思うが、今はかなり子どもの数も増えており、赤ちゃんとか小学生の利用が増えている。市ではこれからコミセンに児童館的役割を持たせていきたいということだが、具体的にどのような考えなのか。	コミセンは、市民の誰もが自由に利用でき、多世代が気軽に交流できる多目的施設です。こうした特性を生かし、各地域の実情を勘案しながら、地域の高齢者を含む大人と子どもたち・子育て家庭とがつながり、支え合える場となれるよう、コミュニティ協議会ごとに市民の皆さんで話し合い、取り組んでいただけたらと考えています。
15	コミセンの児童館的役割	児童館は小さい子から中学生までが利用できる施設だが、今年から待機児童対策で2階が使えなくなって、時間制限がある。朝は乳幼児、午後からが小中学生ということで、この夏休みに幼稚園以下のお子さんと小学生をお持ちのお子さんの世帯など、兄弟が遊ぶところがなくなった。西部コミセンの施設を活用するか、何かいい形でそういうニーズを解決するような策を検討してほしい。	児童館については、2階の一部が使用できるようになったため、冬休みからは時間制限を撤廃しています。地域の様々なニーズに応えられるよう使い方を工夫していきます。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
16	コミセンの支援	西部コミセンで毎週金曜日に親子ルームということで開放しているが、おもちゃ等がないのでなかなか遊びに行きづらい。コミセンの予算は限られていると思うので、おもちゃを私たちから寄贈しても構わないので、おもちゃを置くような形でもっと使い勝手のいい親子ルームにしていきたいと思っている。その中で、高齢者の方との交流ができればいいと思う。	衛生面などを含めて、お子様が使用のおもちゃの管理については、十分な配慮が必要です。そのことも含めて、利用する親子が安心して利用できる方法についても、コミセンにご提案いただければと思います。
17	コミセンのあり方	6月にコミセンの運営がいかにもスムーズに円滑にいくかということの研究会有ったが、そのときに発言したことについて、どのように具体化される方策になってきているのか聞きたい。 今後もコミセンの運営に関して、今までみんなから出てきた知恵が1つずつきちんとなされていくような、明確な返答をこういう機会に与えてほしい。	「これからの地域コミュニティ検討委員会」のパブリックコメントに対しては、報告書にも委員会としての回答を掲載いたしました。それらの具体化につきましては、個別にご相談していきたいと思っております。
18	コミセンの運営	コミセンができて約40年たった。人にやさしくするという感覚がなければ、何をやっても組織的にはうまくいかない。その辺のことも考えて、それらがうまく機能するような予算の執行をしっかりとやっていただきたい。	一人ひとりを大切にされた地域づくりについては、予算執行上の市のスローガンにもしているところです。
19	コミセンと地元民間企業との連携	コミセンと地元民間企業との連携などの実現性についてどう考えているか	最近では、地域貢献に熱心に取り組んでいる企業も増えてきました。前向きに取り組むべきと考えます。
20	学生の地域活動参加	学生が地域の方とかかわることについて、例えば土曜日だけとか月に1回の行事とか、学生でも地域とかかわる方法を教えてほしい。	ボランティアセンター武蔵野では、ボランティアを希望される学生に対し、ボランティア先の紹介を随時行っております。また、近隣の大学ボランティアサークルと共同で地域住民の交流イベントを企画する等、地域での活動を希望される学生のご相談をお受けしており、学生ボランティアの依頼も多くあります。また、多くのコミセンでも、イベントへの協力等のかたちで、学生に関わっていただいております。今後も、積極的にご参加いただければと思います。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
21	旧桜堤小学校の活用	市では桜野小学校の増築を計画されているようだが、その隣に旧桜堤小学校があり、廃校になってから10年ぐらいたっていると聞いているが、あの跡地をどういうふうにするのか。また学校にするのか、ほかの計画があるのか。	旧桜堤小学校跡地については、武蔵野市第五期長期計画においてスポーツ広場として整備するものとして位置付けられています。 桜野小学校の児童については今後増加を続け、平成34年にピークを迎える予想となっていることから平成26年度に校舎増築工事を行いました。増築工事期間中、桜野小学校の校庭が半分程度使用できない状況のため、旧桜堤小校庭を第2校庭として使用し、体育の授業などを実施しました。 平成27年度には、桜野小校庭に残る飼育小屋等の建物の撤去、移設等を行い、桜野小校庭をなるべく広く使えるようにする予定です。旧桜堤小校庭は引き続き使用しますが、桜野小校庭を中心に使用することとなります。このため、桜野小学校の児童数増加に対応するための整備工事が完了してから、旧桜堤小跡地の整備を開始する予定となっています。
22	旧桜堤小学校の工事の時期	先ほど旧桜堤小学校の跡地をスポーツ広場のようなものにするという話だったが、工事に取りかかるまでが一、二年というが、まだ児童数は増加するので、何をもとに一、二年で工事が始まるということなのか。	昨年6月に硬式用ネットを1張交換しています。もう1張についても、学校に状態を確認のうえ対応していきます。
23	施設の設備	六中のテニスコートは1面のネットがボロボロで、ひもで縛ってやっているがすぐ切れてしまう。学校に言っても未だに換えない。予算がないのか？いつ取り換えてくれるのか？	武蔵野ふるさと歴史館は、都営住宅の一部を行政財産として引き続き借用し、運営していきます。 これに伴い、使用料として平成26年は9,060,780円を支出しています。金額は毎年変更がありますが、おおむね900万円とのことです。 また、旧桜堤小学校に保管されている民俗資料の一部を歴史館に収蔵しておりますが、すべてを収蔵することは不可能です。このため、旧桜堤小学校の解体が始まる前に、これら貴重な資料を収蔵する施設を確保することが必要と考えています。
24	歴史資料館	西部図書館跡の利用について、今まで図書館として使われているときには、東京都へ使用料を出していなかったが、今度は使用料を払うことになると聞いたが、これは確かなことなのか。 それから、西部図書館跡では保管してある資料が収まらないのではないか。今、旧桜堤小学校にあるものも全部収まるのか。	武蔵野ふるさと歴史館は、武蔵野市で唯一の、歴史、文化を中心とした施設として平成26年12月に開館しました。武蔵野市全体の歴史文化を、守り、学び伝えていくとともに、地域に根差し、西部地域の新たな発見や取り組みに寄与していきたいと考えています。 地域の方々と共に、市民スペースの活用などにも取り組んでいきたいと考えています。
25	武蔵野の歴史の伝承	西部地域には非常に豊かな歴史的な遺産がたくさんあるので、ふるさと歴史館の開館を機会に、百選などのように、ぜひ文化の面にも取り組んでいただいて、地域のみんなが共通な話題にできるような、そういう仕組みをつくっていただきたい。	

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
26	旧西部図書館のブックポスト	今旧西部図書館の所に図書館のブックポストが2つあるが、それを郷土館になっても置いてほしい。	武蔵野ふるさと歴史館にありますブックポストは、現在暫定的な設置であり、廃止の方向で考えています。ブックポストの全市的な配置については、図書館運営委員会で検討していく予定であり、西部地区への配置についてもその中で検討していきます。
27	武蔵境駅北口のバス停	駅前の桜堤団地行のバス停が、工事のため一番遠くなった。今までは乗り降りするときに歩道から乗っていたが、今は車道なので、バスに乗るときの段差が高くなり、足腰の弱い方が苦労している。桜堤団地行きだけのバスのステップをつくるのはむずかしいので、武蔵野市で対策を考えてほしい。	工事施工に伴う暫定的な仮バス停のため、歩車道に段差を設けるような整備は難しい状況です。より良い環境を提供できるように、バス会社とも調整を行い、乗車場に設置されているガードパイプの配置を変更したり、バスが歩道に寄せやすくなるような工夫を適宜行っております。ご不便をおかけいたしますが、平成27年度末の整備完了までご理解、ご協力をお願いいたします。
28	武蔵境の魅力	武蔵境に住み続けてもらうためにはまちの活性化とかが必要だと思うが、それに対しての考えをお聞きたい。	武蔵境には地元商店会・地元住民、学生をはじめとした大学組織、病院、金融機関、生産農家などが参加する、武蔵境活性化委員会があり、まちの活性化に取り組んでいます。市は引き続き、武蔵境活性化委員会に対し補助を行っていきます。
29	企業の誘致	武蔵境駅周辺またはまちの活性化のために、もっと市民または企業との交流をしてほしい。特に三鷹・吉祥寺へつなぐ道路は1軒も商業施設がないため、コンビニやドラッグストアもない現状である。早く夏場の高温多湿を乗り切るためにも一刻も早く店舗を作るための予算を確保してほしい。	店舗の出店場所は民間企業の経済活動の大きな要素であるため、行政が予算を使って誘導するのではなく、企業の判断によるべきであると考えています。
30	企業の誘致	アメリカのシリコンバレーのような日本版シリコンバレーとして、企業誘致などを行う環境を作り、自治体初めての産業の育成に貢献してほしい。特に武蔵境を主体にお願いしたい。	本市は武蔵境も含め全市域で宅地化が進んでいるため、大規模な敷地を要する形態の事業所は立地できません。第五期長期計画に示す都市型産業の育成について、住宅地との共存が必要な本市の実情に合った誘致・育成について検討していきます。
31	公共施設の設置	境一、三丁目に施設が欲しい	公共施設の課題を解決するために、どのような施設を、どこに作るかは、市民のニーズとともに、地域生活単位の「コミュニティレベル」、より広い交流を図る場としての「駅勢圏レベル」、市域全体を対象とする「市全域レベル」の三層構造の考え方にに基づき、最適の施設配置を行っていきたいと考えています。
32	地域ニーズの把握	地域ニーズ、個々での困りごとをもっと知りたいです。それが見えにくくなっていることが課題だと思う。	ニーズ調査については、現在も各計画の策定時に随時行っており、その都度、結果を公表しておりますが、より市民の皆様にとって見やすい形を今後も検討していきます。



### 3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています)

1	たくさんの意見が出てよかったと思います。ただ「多世代交流」というよりは、子育てに寄っていた気がします。
2	市長、会長を含め、市職員、コミセン役員の皆様の熱意をひしひしと感じました。課題については一人一人の努力の積み重ねが大切で、前向きに、たとえ小さな力でも発揮して頂ければ更に良い居場所作りが出来ると信じています。常に向上を！
3	初めての参加でしたが、市長と市民の距離が近いタウンミーティングでした。
4	筆記のために「テーブル」が欲しかった。
5	活動する団体の問題をお話することができ、助かりました。
6	市長さんが必ず答えてくださるので嬉しかった。また、タウンミーティングに参加します！ありがとうございました。
7	武蔵野市に転入しまして15年、市の活動状況については市報で知る程度でしたが、今日初めてタウンミーティングに参加させていただきました。地域それぞれに対応されている市の状況を知ることができ、大変参考になりました。次回からはしっかりした意見・希望をもって参加したいと思っております。
8	特に御相談した人間ではありませんが、武蔵野市に新しく移住して「良かった」と感じております。終焉の地としたいと希っております。ただ、介護に関しての不審は若干感じております。
9	口先だけでは何もなりません。実行することが重要ではないでしょうか。参加者(市民)は勝手すぎる様な気がする。市民として何をどうすべきか考えるべきだ。

誰でも参加できます。  
あなたの声をお聞かせください。

# 第57回

## 市民と市長のタウンミーティング

### テーマ 「多世代交流の機会と 新しいコミュニティづくり」

- 各世代の課題について（健康、仲間づくり、子育てなど）
- 西部地域の多世代交流と居場所づくり

新しく引っ越してきて、  
はじめてコミセンを  
利用したい

子育ての話がしたい  
同世代の話し相手がほしい

地域活動がしたい  
趣味の仲間がほしい

いろいろな世代と  
交流したい



<日時>

8月16日(土) 13:30～15:30

<場所>

西部コミュニティセンター

住所:境5-6-20 TEL:0422-56-2888



主催 西部コミュニティ協議会  
武蔵野市

- ◆ 当日、直接会場へお越しください。
- ◆ お車でのご来場はご遠慮ください。

<問い合わせ先>

武蔵野市役所 市民活動推進課 市民相談係  
TEL:0422-60-1829 FAX:0422-51-2000



## 第57回

# 市民と市長のタウンミーティング

〈テーマ〉



## 「多世代交流の機会と 新しいコミュニティづくり」

-  各世代の課題について  
(健康、仲間づくり、子育てなど)
-  西部地域の多世代交流と居場所づくり



当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、下記枠内にお書きになり、市役所（7階）市民活動推進課、または各市政センターにお届けいただくか、FAXで市民活動推進課（0422-51-2000）にお送りください。

---

---

---

---

---

第57回

市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成27年4月

武蔵野市 市民部 市民活動推進課

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)